

自殺予防の考え方(2)

「死にたい」という相談を受けたとき…

「自殺したい、死にたい」という衝動は、一時的な場合もあり、身近な人や相談機関に「話す」ことで解消されることがあります。

このため、「死にたい」という相談を受けた場合には、本人の話に耳を傾けて、十分に話を聴くことが大切です。また、自殺の危険の高い人は、自殺を考えていることを「秘密にして欲しい」としばしば頼み込んできますが、緊急を要すると思われる場合には、ただちに、医療機関への受診や相談機関の利用をすすめることが必要です。

